

平成 18 年度事業計画書

平成 18 年 3 月 18 日 (評議員会)

平成 18 年 3 月 25 日 (理事会)

学校法人 神戸学院

18歳人口が減少を続ける中、2007年度（平成19年度）には「大学全入時代」が到来すると予測されています。日本私立学校振興・共済事業団の調査では、2005年度（平成17年度）入試において、定員割れの大学が160校（29.5%）に達したことが公表されました。また、国立大学の独立行政法人化及び再編統合、株式会社立大学の認可、情報開示の推進、第三者評価制度の導入、国庫補助金の競争的配分政策の実施等、高等教育においては様々な変革が進行しています。

このような厳しい競争的環境に勝ちぬくために、各大学は教育研究環境の充実を図り、大学改革の推進に努めています。本法人においても高等学校の改革、短期大学の廃止、大学の学部・学科増設および施設・設備の充実等の施策を重ね社会のニーズに応えるよう努めてきました。そして、ポートアイランドキャンパスへの一部移転を決定し、2007年4月の開設に向けて整備工事が進んでいます。移転後の有瀬キャンパスの整備についても、高校の移転とあわせて検討しております。

1. 予算編成方針

<神戸学院大学>

平成18年度予算書（案）は、2005年9月29日の大学評議会で承認された「2006年度（平成18年度）予算大綱」に基づいて編成しました。

その中でも特に、

- (1) 財政基盤の強化のために、経常経費の削減を含めた見直し
- (2) キャリア教育の充実と学生および卒業生の就職支援体制の策定
- (3) 社会に通用する実践的な学力を養成するための、特色ある教育プログラムの構築および実践
- (4) 学生のニーズに応えるための学部教育、大学院教育改善
- (5) 研究成果の向上、外部資金獲得および産官学連携・地域連携の推進
- (6) 戦略的企画広報の充実
- (7) 人事諸制度見直しに伴う「人件費」の合理化および事務組織の機能強化・効率化

を重点項目として設定し、財政基盤の強化を図るとともに、限られた財源を有効的に配分することを基本方針として編成しました。

<神戸学院大学附属高等学校>

教育の情報化を積極的に推進するため、入学時に全員にノートパソコンを貸与し、パソコンを活用した授業、レポート提出、図書の検索、インターネットの活用、プレゼンテーション訓練等多方面に渡り情報教育を実施しています。また、国際理解のためにオーストラリア語学研修、イギリス修学旅行、ネイティブ・スピーカーによる授業等異文化に触れる教育を実施しています。さらに、大学受験を考え休日学外の講師による受験講座を1年間にわたり実施し、長期休暇中には本校教員による学習合宿も実施し学力レベルアップをはかるように展開しています。

「男女共学・大学附属高校化」として再出発をはじめてから5年が経ちました。その結果、かなりの成果をあげてまいりましたが、施設等に関しては現状ではほとんど改修ができない状況です。そこで、現状に沿った教育に重点を置いた施策を中心にした編成となりました。また、高校の財政基盤の強化策（募集定員増等）を検討するにも、現在の会下山では狭隘のため限界があり、そのために、有瀬キャンパスへの移転を検討しています。

2. 予算の概要

<消費収支予算>

<前年度は、平成 17 年度第 3 次補正予算額>

消費収入の部では、学生生徒等納付金は、人文学部・薬学部の定員増、2004 年度（平成 16 年度）開設の人間心理学科、法科大学院および 2005 年度（平成 17 年度）開設の総合リハビリテーション学部の学年進行に伴う学生増により、前年度対比 4.8% 増の 11,093 百万円（帰属収入対比 84.5%）を見込んでいます。

手数料は前年度対比 0.6% 増、寄付金は前年度対比 35.6% 減、補助金は前年度対比 5.7% 増、資産運用収入は特定資産等の取り崩しおよび有価証券の売却等により運用資産が減少するため、前年度対比 23% 減、事業収入は前年度対比 7.2% 減となります。

以上の結果、帰属収入合計は前年度対比 0.9% 増の 13,127 百万円となる見込みです。

基本金組入額は、施設・設備等の取得、キャンパス整備資金の取崩、年次計画に基づく組入等で 4,874 百万円となります。

帰属収入合計から基本金組入額を差し引いた消費収入の部合計は 8,252 百万円となり、前年度対比 96.6% 増を見込んでいます。

消費支出の部では、人件費は、薬学部 6 年制への移行、総合リハビリテーション学部教員の年次採用、大学の新学内専任教員定員枠（講師以上）の設定等に伴う増員を見込んでおり、前年度対比 2.1% 増の 8,165 百万円（帰属収入対比 62.2%）になります。教育研究経費（減価償却額含む）は前年度対比 7.7% 増の 4,863 百万円（帰属収入対比 37.0%）、管理経費（減価償却額含む）は、前年度対比 10.6% 減の 1,355 百万円（帰属収入対比 10.3%）となります。借入金等利息は前年度対比 0.8% 減となります。消費支出の部合計は、14,705 百万円で、前年度対比 2.4% 増となります。

消費収支差額の部では、消費収入の部合計から消費支出の部合計を差し引いた当年度消費収支差額は 6,452 百万円の支出超過となり、前年度繰越消費支出超過額 8,011 百万円を加えた翌年度繰越消費収支差額については、14,464 百万円の支出超過となる見込です。

なお、帰属収入の部合計から消費支出の部合計を差し引いた帰属収支差額については、大学が 1,528 百万円、高等学校が 49 百万円の支出超過となり、法人全体としては 1,577 百万円の支出超過となります。

<資金収支予算>

<前年度は、平成 17 年度第 3 次補正予算額>

収入の部では、資産売却収入 6,850 百万円（前年度対比 34.2% 増）、前受金収入 2,262 百万円（前年度対比 1.9% 増）、その他の収入はキャンパス整備資金からの繰入が主な内容で 16,566 百万円となります。

支出の部では、施設関係支出は KPC 整備工事が主な内容で 16,140 百万円、設備関係支出は KPC 整備に伴う家具・備品、情報設備が主な内容で 2,081 百万円、資産運用支出は特定資産への繰入が主な内容で 1,657 百万円となります。

前年度繰越支払資金は 2,246 百万円でしたが、資金収入は 36,581 百万円、資金支出は 33,911 百万円となり、次年度繰越支払資金は前年度対比 118.9% 増の 4,915 百万円となります。

3. 事業計画の概要

< 神戸学院大学 >

(単位：千円)

項 目	内 容	予算額
キャリア教育の充実と学生および卒業生の就職支援体制の策定	就職活動支援体制の強化	42,776
	キャリアトレーニング入門講座の開講	3,517
	就職適性検査や就職実践模試等の実施	20,613
	進路相談員・キャリアカウンセラーの配置	6,509
	インターンシップ事前・事後研修の充実	4,032
	薬学部トータルケアプログラムの構築	5,099
	経済学部海外インターンシップ	3,006
社会に通用する実践的な学力を養成するための、特色ある教育プログラムの構築および実践	学際教育機構の設置	35,226
	「防災・社会貢献ユニット」の開設	27,846
	「スポーツマネジメントユニット」のプレプログラム実施	7,380
学生のニーズに応えるための学部教育、大学院教育改善	e-Learningによる「新しい教育方法」の構築	175,393
	教材データベース・教育ソフトの充実	45,496
	.Campus、Celebによるe-Learningの充実	10,524
	e-Learning教材作成支援	11,000
	学内ネットワークの維持・管理	108,373
	実験実習機器の整備	33,534
	人間心理学科年次進行への対応	30,804
	薬学部6年制への対応	2,730
	課外講座事業	71,330
	公務員試験・資格試験対策講座の開講	68,630
	課外講座受講料の軽減、検定試験受験料の補助	2,700
	FD活動の推進	17,195
	FD講演会、FDワークショップの開催	10,423
学生による授業評価アンケートの実施	6,772	
客員教授制度	客員教授制度	117,644
	客員教授(国外)制度	55,644
	客員教授(国内)制度	32,000
	特別客員教授制度	30,000
研究成果の向上、外部資金獲得および産官学連携・地域連携の推進	研究支援制度の確立	38,228
	神戸学院大学共同研究助成金	5,000
	健康科学研究助成金	2,500
	海外研究員制度	30,728

	共同研究の推進 学術フロンティア推進事業 (食品薬品総合科学研究科) 学術フロンティア推進事業(人間文化科学研究科) オープンリサーチセンター整備事業(法学研究科) オープンリサーチセンター整備事業(経済学研究科) 大学院高度化推進特別経費	329,965 238,795 18,100 14,420 31,650 27,000
戦略的企画広報の充実	ポートアイランドキャンパス広報 大学案内等印刷・大学紹介 DVD 作成 入試募集広告 学部広報誌作成 ホームページの充実	271,320 100,000 47,756 104,069 13,143 6,352
学内奨学事業	学部支給奨学金制度 大学院特別奨学金制度 大学院支給奨学金制度 法科大学院支給奨学金制度 交換・派遣留学生奨学金制度 私費外国人留学生奨学金制度 私費外国人留学生授業料減免援助金 奨励金制度 特待生制度	233,873 33,300 24,170 7,800 54,000 18,535 7,200 21,408 42,460 25,000
課外活動支援事業	課外活動・大学祭補助金 技術指導員指導料 強化クラブへの特別補助	79,339 21,969 17,370 40,000
グリーン・フェスティバル事業	グリーン・フェスティバルの開催	11,649
ポートアイランドキャンパス整備	土地・建物・構築物(建設仮勘定) 家具・備品、情報設備 移転費用その他 固定資産税・都市計画税	17,970,000 16,000,000 1,640,000 270,000 60,000
グラウンド・野外練習場整備事業	ナイター設備の設置・グラウンド整備	129,910
短期大学廃止	短大図書館資料移管作業 短大施設設備の維持管理	64,492 36,235 28,257

< 神戸学院大学附属高校 >

(単位：千円)

項 目	内 容	予算額
パソコン活用事業	一人一台のパソコンを貸出	40,800
語学研修事業	語学研修(オーストラリア) 修学旅行(イギリス) オーラルコミュニケーション授業実施	15,100
学習合宿事業	夏期休暇中に合宿実施	1,000
大学受験講座事業	大学受験対策講座の開講	6,400
高大連携授業	週1回大学において高大連携授業を実施	3,000
総合的な学習	社会人講師、専門家を招いての学習プログラム事業	2,500
課外活動支援事業	マイクロバスの運行	2,700
学内奨学事業	支給奨学金	7,200